

藤井寺市立道明寺東小学校長
藤井 朋宜

春の風が、今年も校庭の桜の花を咲かせてくれました。今年度、道明寺東小学校長を拝命しました藤井 朋宜（ふじい ともよし）です。どうぞよろしくお願いいたします。

先日の入学式では、41名の新入生を迎え、285名の児童とともに新たなスタートを切りました。

・基本を大切にする学校 ・考えることを大切にする学校 ・居場所のある学校

私が今年度大切にしていきたい3つの「めざす学校像」です。

一つ目の「基本を大切にする」は、当たり前のことを当たり前にするということです。周りの人たちが気持ちよく過ごせるために、また、自分が気持ちよく過ごすために、日ごろのあいさつや、時間を守ること、そして常に感謝の気持ちを持つということなどが大切だと考えています。

二つ目の「考えることを大切にする」ことは、子どもたちの主体性を育む基礎となると考えています。大人が「成長ファースト」で子どもの成長を見守る姿勢をとること、学習の中で「考える」機会をしっかりと作ることなどが大切だと考えています。

三つ目の「居場所のある学校」は、全てにおいて土台となる大切なものです。居場所は何も学校だけではありません。家庭にも地域にもなくてはなりません。つまり、それらが一体となって児童の成長に参画し、喜びを分かち合うことが、子どもの居場所づくりには欠かせないということになります。子どもの居場所づくりは、教育の一丁目一番地だと考えています。

さて、道明寺東小学校は今年六十周年を迎えます。昨年度より PTA の皆様のご理解ご協力のもと、内線電話設置や航空写真撮影の準備などをさせていただいております。また、今年度中には、六十周年記念新聞の作成も計画しております。保護者の皆様、地域の皆様とともに、この記念すべき年を楽しみたいと思っています。

最後になりましたが、日頃より、登下校時の見守り活動をはじめ、子どもたちのために多大なご支援をいただいております地域の皆様方、本当にありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。